

○ 委員長報告

2月定例本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

令和4年2月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、肱川水系緊急治水対策推進事業の進捗状況についてであります。

このことについて一部の委員から、肱川において国・県が連携して堤防整備を進めている本事業の進捗状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県事業では、2月末時点で堤防整備に不可欠な用地の約95%を取得済みで、12工区のうち10工区で工事に着手しており、菅田地区では延長ベースで約4割が完了、久米川でもコンクリートによる堤防嵩上げにより早期完了を目指している。来年度は残る2工区も含め、全工区で工事を展開し、令和5年度事業完了を目指し整備を加速させることとしている。

なお、国事業では、2月末時点で14工区のうち12工区で築堤や暫定堤防嵩上げ工事等を進めており、今年度補正予算及び来年度当初予算により、残りの2工区にも着手すると聞いている。これにより、進捗率は予算ベースで、県事業が8割強、国事業が約7割となる旨の答弁がありました。

第2点は、道路の防災・減災対策の推進についてであります。

このことについて一部の委員から、対策の現状と今後の取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、安全で信頼性の高い道路網を確保するため、県管理道路の防災点検で対策が必要とされた2,588か所の解消に努めており、進捗率は今年度末までに約69%になる見込みである。

中でも、大規模災害発生時に避難・救援や緊急物資の輸送などを担う緊急輸送道路への対策を重点的に進めており、要対策箇所1,015か所の進捗率は今年度末までに約92%となる見込みである。

今後は、緊急輸送道路以外の道路についても、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を活用するなど、引き続き、防災・減災対策

を着実に進め、1日も早い対策の完了に努めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、とべもりエリア交流拡大推進事業についてであります。

このことについて一部の委員から、本事業の具体的な内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、とべ動物園とえひめこどもの城、総合運動公園の3施設からなるとべもりエリアにおいて、来年度は、周遊の円滑化として動物園とこどもの城を結ぶ3輪EV車を運行するほか、周遊の活性化として総合運動公園でのイルミネーションの設置や、オリエンテーリング大会の開催、デジタルツール「とべもりナビ」の機能拡張を行う。このほか、新たな客層を取り込むため、えひめ森林公園と連携し、4施設それぞれでSDGsを学べる学習プログラムを作成する予定である。

今後は、これらの施策を推進して、とべもりエリアとしての新しい楽しみ方を提案することにより、エリア全体の活性化及び本県への誘客拡大に努めていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・流域治水対策の推進
- ・ゆめしま海道3橋のPR
- ・南レク公園の魅力向上への取組み

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。